

ギャンブル障害および ギャンブル関連問題の実態調査

～調査A 住民調査結果～

国立病院機構久里浜医療センター

松下幸生、古賀佳樹、浦山悠子、
柴山笑凜、柴崎萌未、新田千枝、遠山朋海

調査の概要

	調査時期	調査方法	回収数（回収率）
調査A	令和5年11月1日～令和6年1月31日	層化二段無作為抽出法による住民調査 対象者は全国の18,000人 自記式調査（調査票を郵送） （回答方法はウェブまたは郵送）	回収数：9,291人 （回収率51.6%） 有効回答：8,898人 （有効回答率49.4%）

無効回答の基準

- ①住民基本台帳の性別と、調査票で回答された性別が異なる
- ②住民基本台帳の年齢と、調査票で回答された年齢が±2歳以上の差を認める
- ③年齢を、調査対象年齢外である18歳未満と回答している
- ④郵送回答とWeb回答の両方に重複して回答している場合、先に回答を受領した票を有効とし、後から受領した調査票は無効
- ⑤全員に回答を求めている設問のうち、半分以上に回答していない

調査内容

調査対象：層化二段無作為抽出により抽出された18歳以上75歳未満の男女 18,000人

調査手法：調査票を郵送し、回答は郵送またはウェブを回答者が選択

有効回答：有効回答は8,898人（男性が4,204名、女性4,694名）より得られ、有効回答率は49.4%

調査内容：

- ① ギャンブル経験の有無、頻度、掛け金額などギャンブル行動
- ② ギャンブル障害のスクリーニングテスト（PGSI、NODS-GD）
- ③ ギャンブル関連問題（うつ・不安（K6）、希死念慮、自殺企図、喫煙、飲酒（AUDIT-C））
- ④ コロナ感染拡大とネットギャンブルとの関連
- ⑤ 依存症を含めた各種疾患の自己責任についての意見
- ⑥ ギャンブルに対する態度（Attitude Towards Gambling Scale: ATGS-8）
- ⑦ ギャンブルに対する信念（Positive Play Scale: PPS）
- ⑧ 社会的望ましさスケール（Social Desirability Scale: SDS）

ギャンブル経験の有無と種類

ギャンブル経験

	2023年		2020年	
	生涯	過去1年	生涯	過去1年
男性	3,610 (85.9%)	1,888 (44.9%)	3,328 (84.1%)	1,781 (45.0%)
女性	3,112 (66.3%)	1,243 (26.5%)	2,802 (65.7%)	978 (22.9%)
全体	6,722 (75.5%)	3,591 (35.2%)	6,130 (74.5%)	2,759 (33.6%)

2020年 vs 2023年
生涯:男性 p<0.05、女性 ns
過去1年:男性 ns、女性 p<0.01

調査対象者数（2023年）： 18,000名（18歳から74歳）
調査対象者数（2020年）： 17,955名（18歳から74歳）
回答者数（2023年）：8,898名（男性4,204名、女性4,694名）
回答者数（2020年）：8,223名（男性3,955名、女性4,268名）
平均年齢(2023年)：男性：51.0 ± 15.2歳、女性：49.2 ± 15.4歳）
平均年齢(2020年)：男性：50.9 ± 15.2歳、女性：48.6 ± 15.4歳）

ギャンブルの経験割合（過去1年間）

（過去1年にギャンブル経験がある者に占める割合）

	性別	パチンコ	パチスロ	競馬	競輪	競艇	オートレース	宝くじ	スポーツ振興くじ	証券取引FX	カジノ（海外）	その他
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
2023年	男性	33.2	23.1	24.2	4.3	6.6	1.4	61.1	12.3	7.9	1.0	0.7
	女性	16.2	7.6	10.7	0.9	2.2	0.6	82.0	7.2	4.9	1.1	0.3
	全体	26.4	17.0	18.8	3.0	4.9	1.1	69.4	10.3	6.7	1.1	0.5
2020年	全体	24.2	15.7	14.7	1.4	3.3	0.7	68.4	9.8	10.0	0.7	0.6

最もお金を使ったギャンブルの種類

	性別	パチンコ	パチスロ	競馬	競輪	競艇	オートレース	宝くじ	スポーツ振興くじ	証券取引FX	カジノ(海外)	その他
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
2023年	男性	18.7	12.1	13.7	1.3	2.1	0.4	40.8	4.2	5.9	0.4	0.4
2020年	男性	18.6	12.7	11.3	0.7	1.6	0.1	40.9	4.1	8.3	0.5	0.4
2023年	女性	9.5	4.0	5.9	0.2	0.6	0.1	72.2	2.6	4.0	0.7	0.2
2020年	女性	10.9	4.4	4.8	0	0.9	0.1	69.8	2.1	6.1	0.3	0.1

ギャンブル障害の スクリーニングテスト結果

		全体	男性	女性
		% (95% C.I.)	% (95% C.I.)	% (95% C.I.)
2023年	PGSI (8点以上)	1.7 (1.4-1.9)	2.8 (2.3-3.3)	0.5 (0.3-0.7)
2020年	PGSI (8点以上)	1.6 (1.4-1.9)	2.8 (2.3-3.4)	0.4 (0.3-0.7)
2023年	NODS-GD (4点以上)	1.7 (1.4-1.9)	3.0 (2.5-3.6)	0.3 (0.1-0.5)

PGSI: Problem Gambling Severity Index

NODS-GD: NORC Diagnostic Screen for Gambling Problems: DSM-5 Gambling Disorder

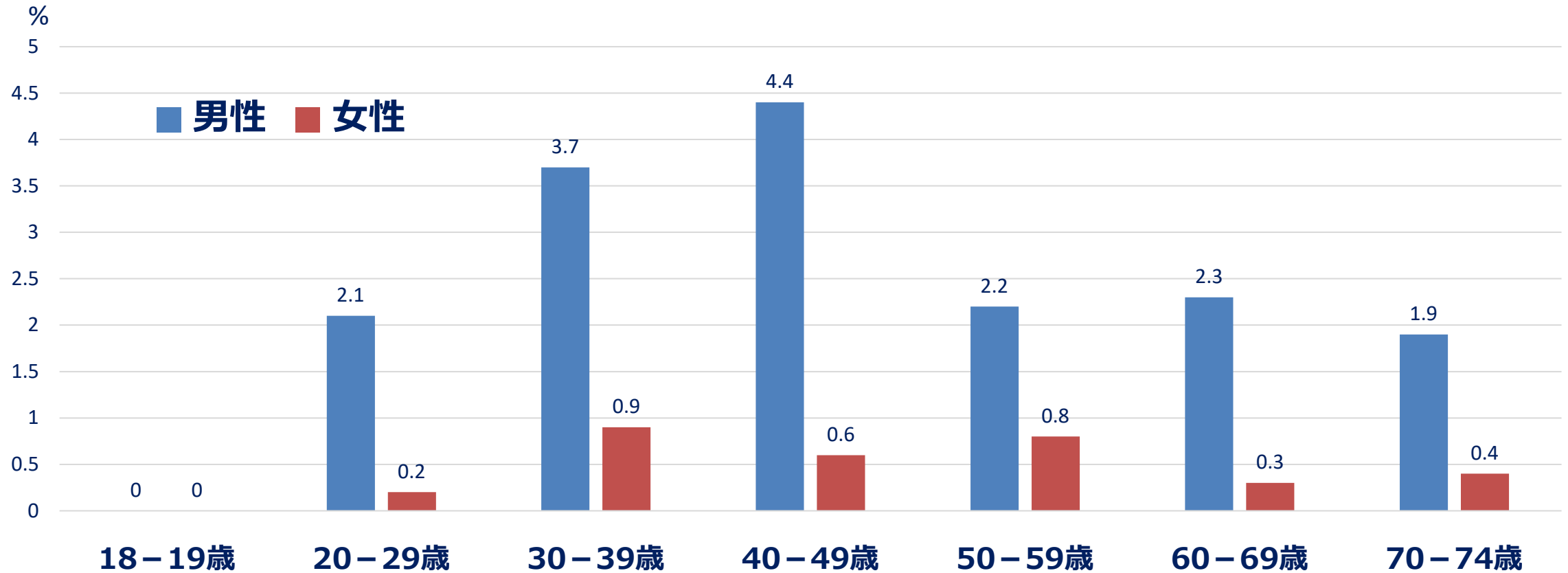
年齢調整後

海外の調査で使用されたスクリーニングテスト

スクリーニングテスト	使用された調査数	カットオフ値
PGSI	18	8点以上（問題ギャンブラー） 2～7点（中等度リスク）
DSM-IV	3	5点以上（病的賭博） 3～4点（問題ギャンブラー）
SOGS	2	5点以上（病的賭博） 3～4点（問題ギャンブラー）
NODS	2	5点以上（病的賭博） 3～4点（問題ギャンブラー）

PGSI高得点の割合

性別・年代別割合



最もお金を使ったギャンブルの種類

～PGSI点数による比較～

男 性

PGSI	パチンコ	パチスロ	競馬	競輪	競艇	オートレース	宝くじ	スポーツ 振興くじ	証券取引、 FX	カジノ (海外)	その他
8点以上	43.4%	24.5%	11.3%	2.8%	5.7%	0.9%	3.8%	0%	6.6%	0%	0.9%
7点以下	16.8%	11.5%	14.0%	1.1%	1.8%	0.4%	43.2%	4.5%	6.0%	0.4%	0.4%

女 性

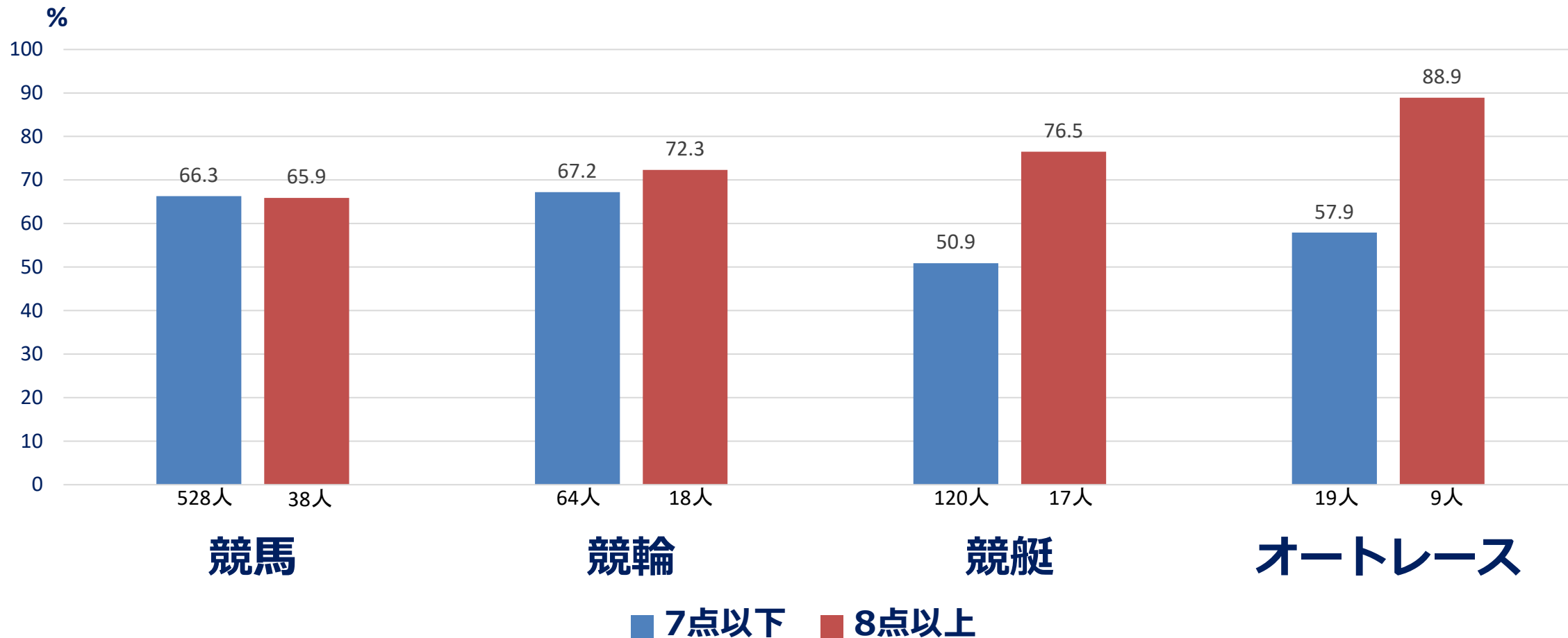
PGSI	パチンコ	パチスロ	競馬	競輪	競艇	オートレース	宝くじ	スポーツ 振興くじ	証券取引、 FX	カジノ (海外)	その他
8点以上	60.9%	17.4%	0%	4.3%	0%	0%	4.3%	0%	0%	0%	13.0%
7点以下	8.4%	3.7%	6.2%	0.2%	0.6%	0.1%	73.3%	2.7%	4.2%	0.7%	0%

PGSI 8点以上で多いのは、

男性：パチンコ、パチスロ、競馬

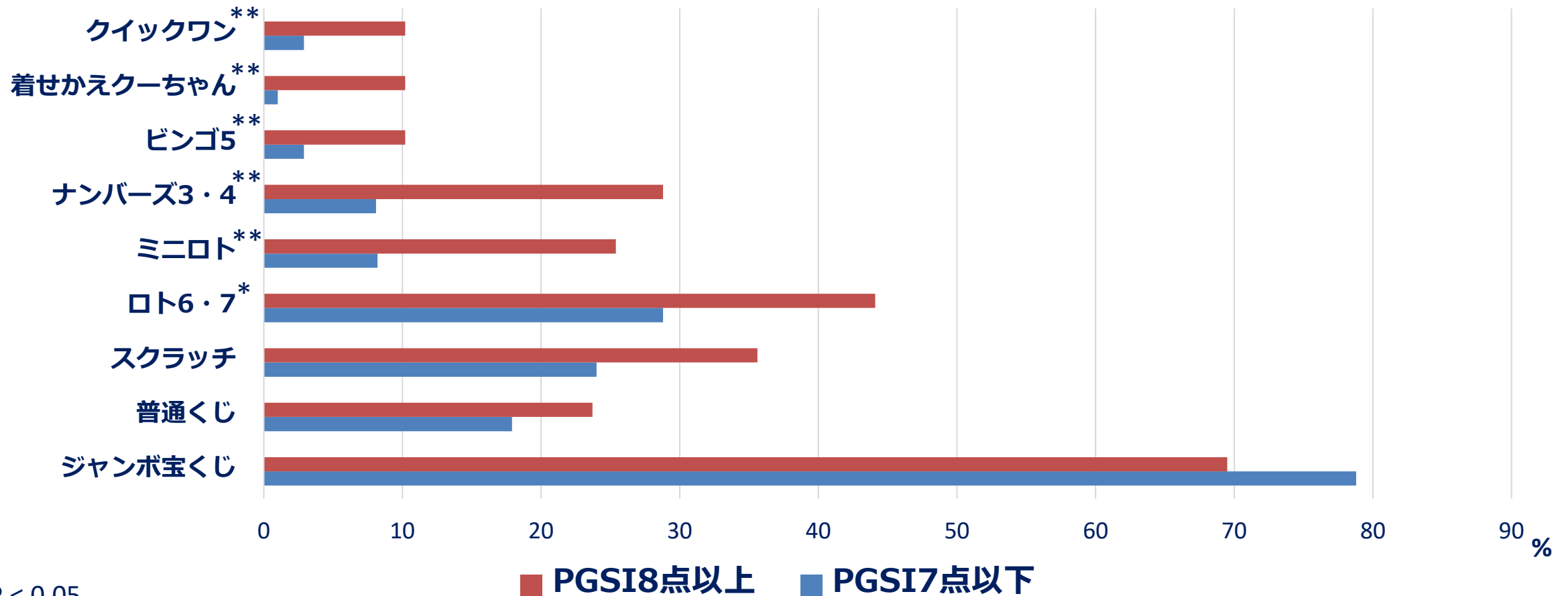
女性：パチンコ、パチスロ、その他（ゲーム課金含）の順

公営ギャンブルのオンライン利用率（%） ～PGSI点数による比較～



宝くじの利用とPGSIの関係

～過去1年に宝くじの経験のある者～



* $P < 0.05$

** $P < 0.01$

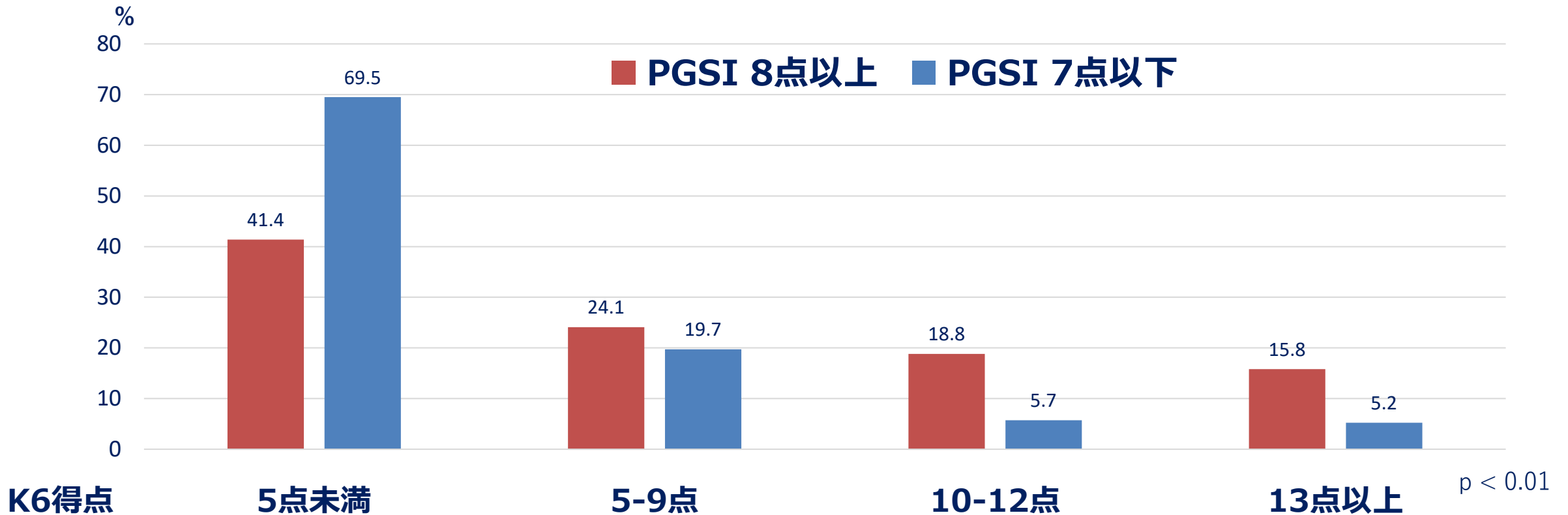
各種宝くじの特徴

宝くじの種類	選択可能性	結果の即時性	オンライン購入
ジャンボ宝くじ	ランダム	2週間～1カ月半	販売所・オンライン
ジャンボ宝くじ以外の普通のくじ	ランダム	3日～1カ月半	販売所・オンライン
スクラッチ	ランダム	即時	販売所のみ
ロト7、ロト6	数字を選択	当日～1週間	販売所・オンライン
ミニロト	数字を選択	当日～1週間	販売所・オンライン
ナンバーズ4、ナンバーズ3	数字を選択	当日～3日	販売所・オンライン
ビンゴ5	数字を選択	当日～1週間	販売所・オンライン
着せかえクーちゃん	絵柄を選択	当日～3日	オンラインのみ
クイックワン	ランダム	即時	オンラインのみ

黄色はPGSI高得点者が多く利用していた宝くじ

選択可能性は、利用者が当たる確率を高く見積もることが報告されている（Langer EJ et al, J Pers Soc Psychol, 1975）
 結果の即時性は、ギャンブル障害を有する者の即時的な報酬を好む傾向を反映している可能性（Schluter MG et al, Front Behav Neurosci, 2021）

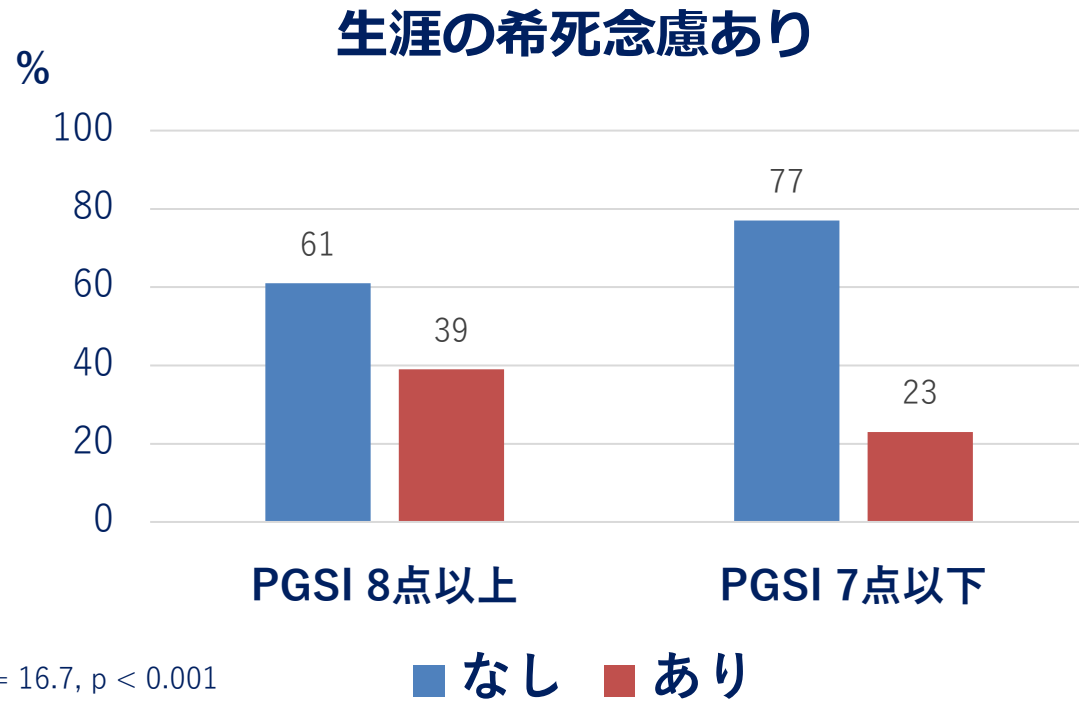
PGSIと抑うつ・不安（K6）の相関



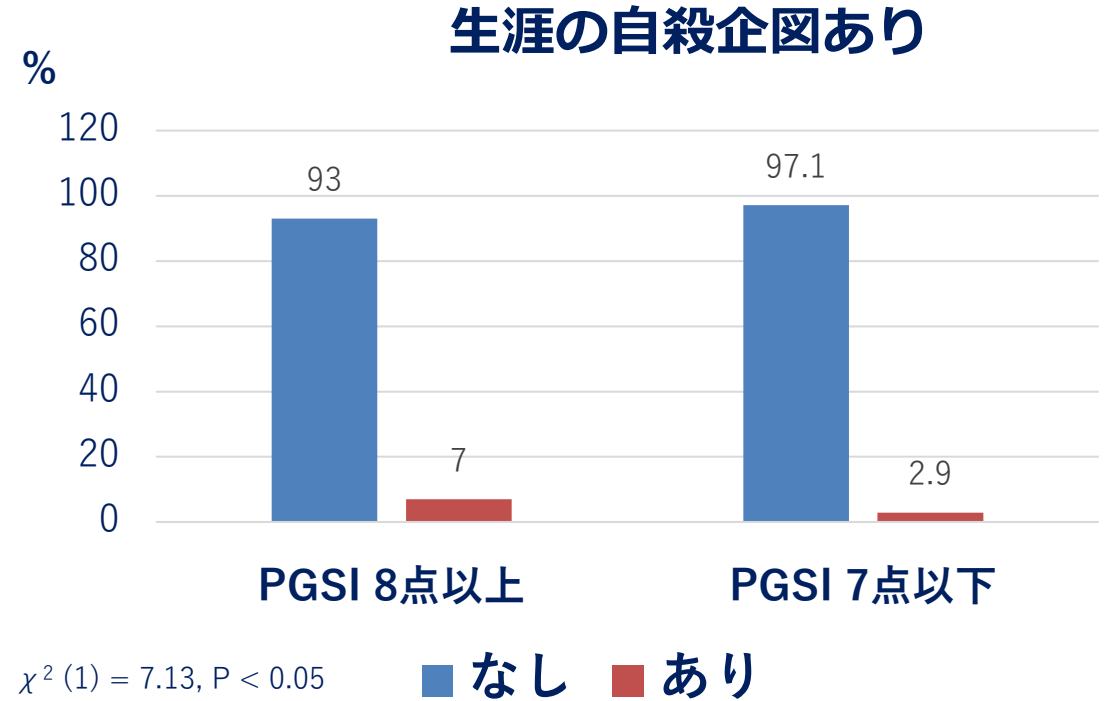
ギャンブルの問題は抑うつ・不安と関連する傾向が認められる

PGSIと希死念慮・自殺企図

希死念慮（生涯）



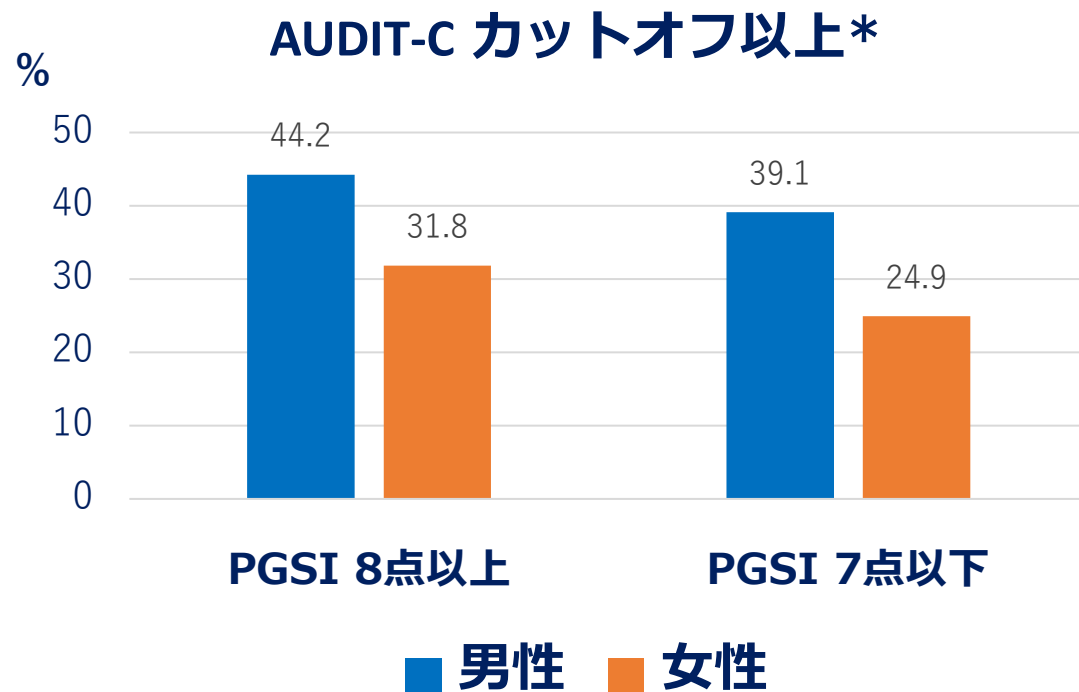
自殺企図（生涯）



ギャンブルの問題は希死念慮、自殺企図と関連する傾向が認められる

PGSIと飲酒・喫煙

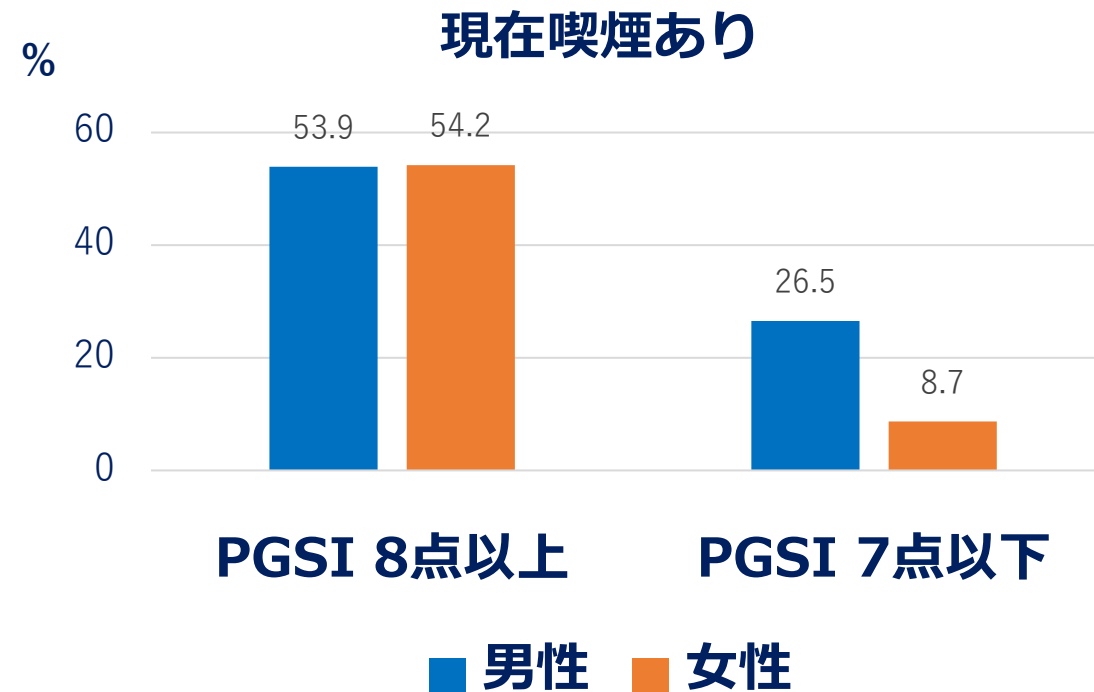
飲 酒 (AUDIT-C)



男性 : $\chi^2 (1) = 0.85, ns$
女性 : $\chi^2 (1) = 0.56, ns$

*男性 5点以上、女性 4点以上

喫 煙

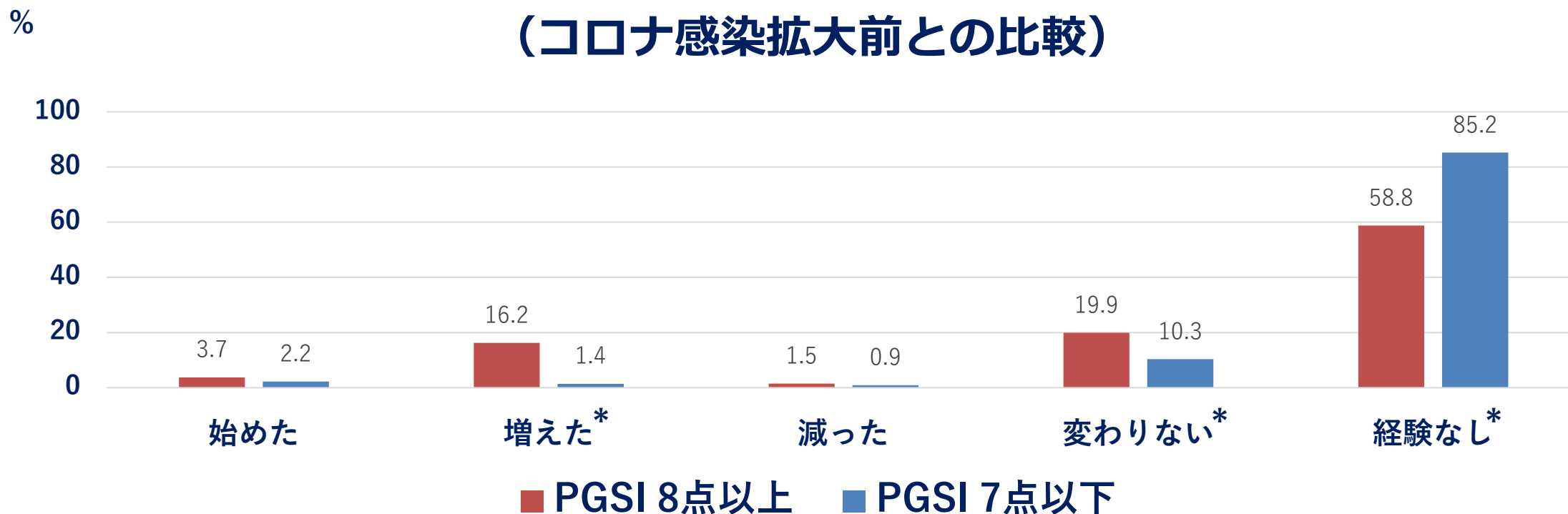


男性 : $\chi^2 (1) = 42.45, p < 0.0001$
女性 : $\chi^2 (1) = 66.25, p < 0.0001$

新型コロナ感染拡大とネットギャンブル

インターネットを使ったギャンブルの変化

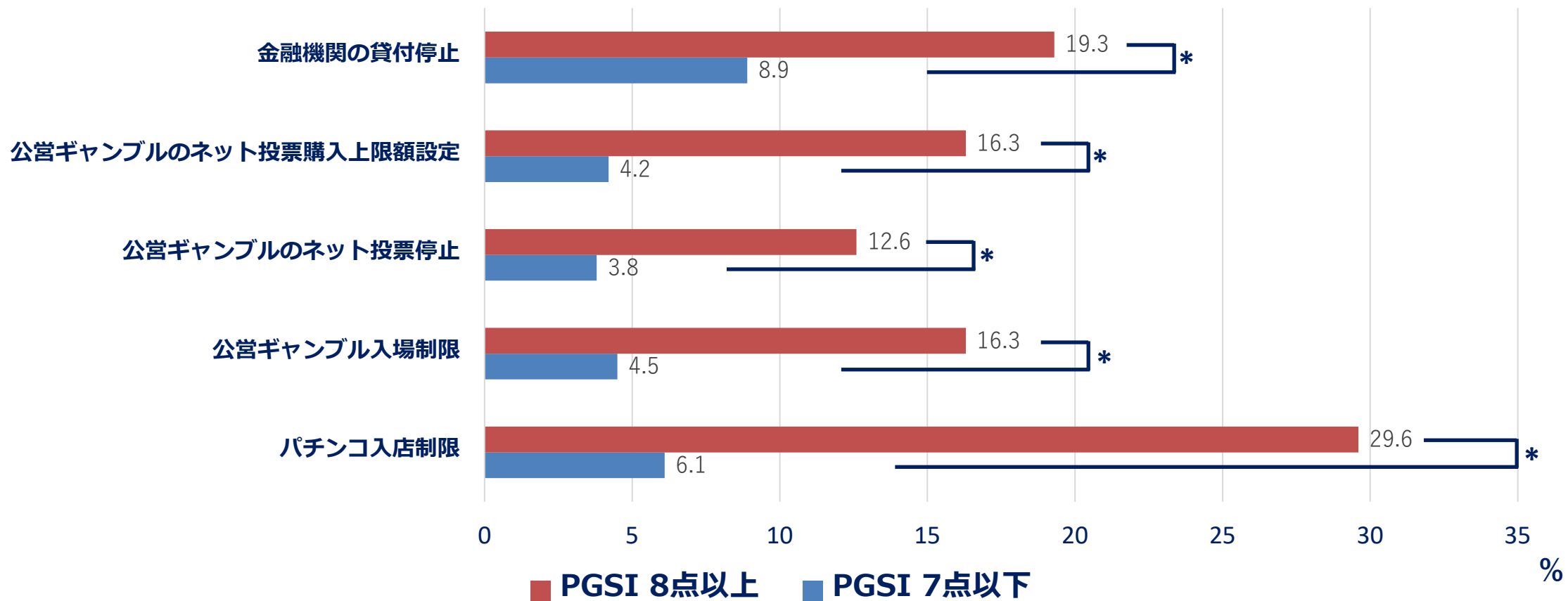
(コロナ感染拡大前との比較)



ギャンブルの経験がある者対象 (n = 6,722)

$\chi^2(4) = 192.2, p < 0.001$ (Fisherの正確検定)、CramerのV: 0.17
残渣分析結果: * $p < 0.01$

依存症対策の認知度（PGSI点数比較）



*p < 0.0001

令和5年度

ギャンブル障害および ギャンブル関連問題の実態調査 調査B 結果概要

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター
古賀佳樹、遠山朋海、新田千枝、柴山笑凜、
浦山悠子、柴崎萌未、松下幸生

調査B 依存の問題で相談機関を利用された方へのアンケート

- **目的：** ギャンブル等依存の問題を抱えている者（当事者・家族）の特徴やギャンブル関連問題の実態把握
- **調査対象：** 依存の問題で公的相談機関に来訪した当事者とその家族
※精神保健福祉センター65か所、保健所54か所の協力が得られた
- **調査手法：** 相談機関職員から来訪者に調査案内および調査票を配布。回答方法は郵送 or インターネット
- **配布・回収時期：** 令和5年9月1日～令和6年3月31日
- **配布数：** 当事者票538票、家族票569票
- **有効回答数：** 当事者票288票、家族票382票
- **調査項目：**

当事者票

- ・ 基本属性（性別、年齢、婚姻状況、同居者、職業、年収など）
- ・ 依存問題の種類、相談に来た経緯、相談への抵抗感
- ・ ギャンブル行動（過去1年ギャンブル経験の有無、ギャンブルの種類、頻度、使う金額など）
- ・ ギャンブル障害のスクリーニングテスト（PGSI）
- ・ クロスアディクション
アルコール使用障害のスクリーニングテスト（AUDIT-C）
ゲーム障害のスクリーニングテスト（Games Test）
- ・ ギャンブル関連問題（抱える困難、抑うつ・不安尺度、希死念慮・自殺企図の有無、触法行為の有無、社会機能の障害）
- ・ 治療機関や自助グループ、回復支援施設、生活支援利用制度の有無、その他相談機関の利用経験に関する質問

家族票

【様々な依存問題 家族共通の質問】

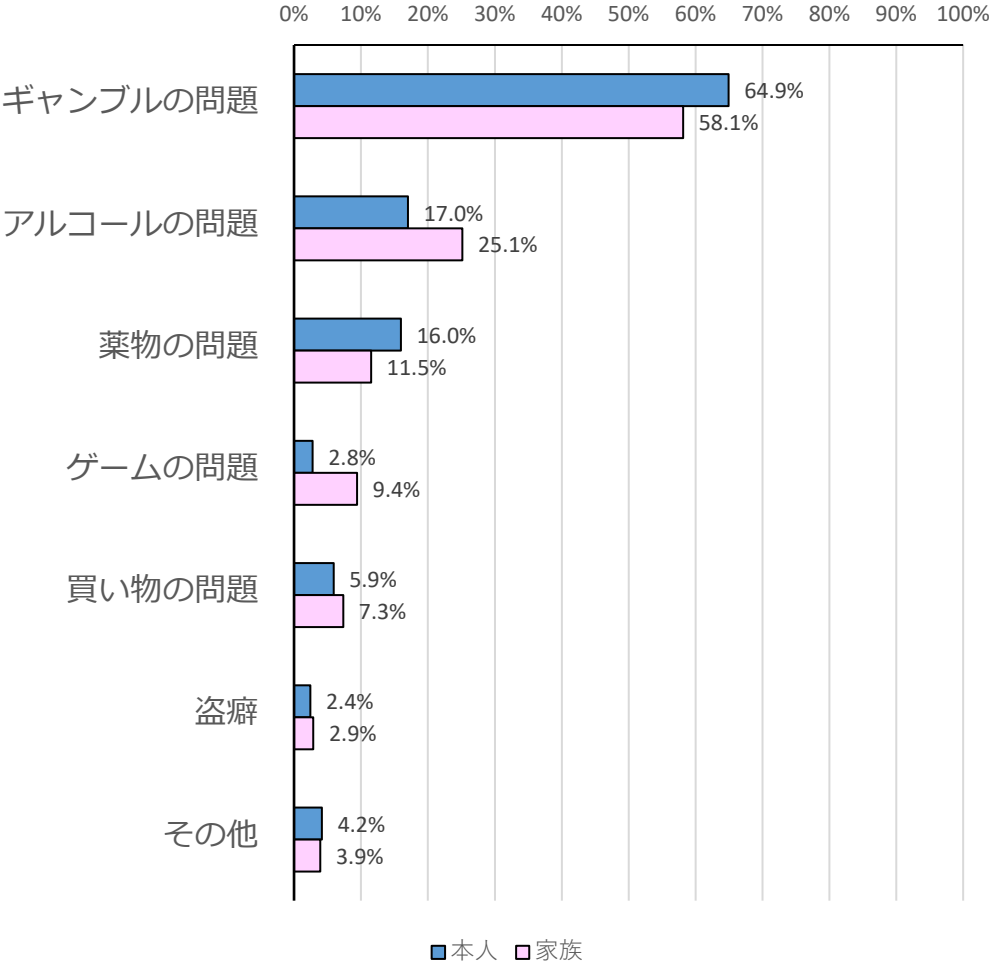
- ・ 基本属性（性別、年齢、婚姻状況、同居者、職業など）
- ・ 当事者の情報（関係性、依存問題の種類など）
- ・ 依存問題の種類、相談に来た経緯、相談への抵抗感
- ・ 依存関連問題（抑うつ・不安尺度、希死念慮・自殺企図の有無、触法行為の有無、社会機能の障害、負担感）
- ・ 援助要請スタイル、依存症者へのスティグマ
- ・ 今後求める支援

【ギャンブル問題を抱える当事者のご家族への質問】

- ・ 問題となっているギャンブルの種類
- ・ 家族がギャンブル問題から受けた影響
- ・ 借金等の有無

依存・嗜癖問題の種類	当事者	家族
ギャンブルの問題	187	222
アルコールの問題	49	96
薬物の問題	46	44
ゲームの問題	8	36
買い物の問題	17	28
盗癖	7	11
その他	12	15

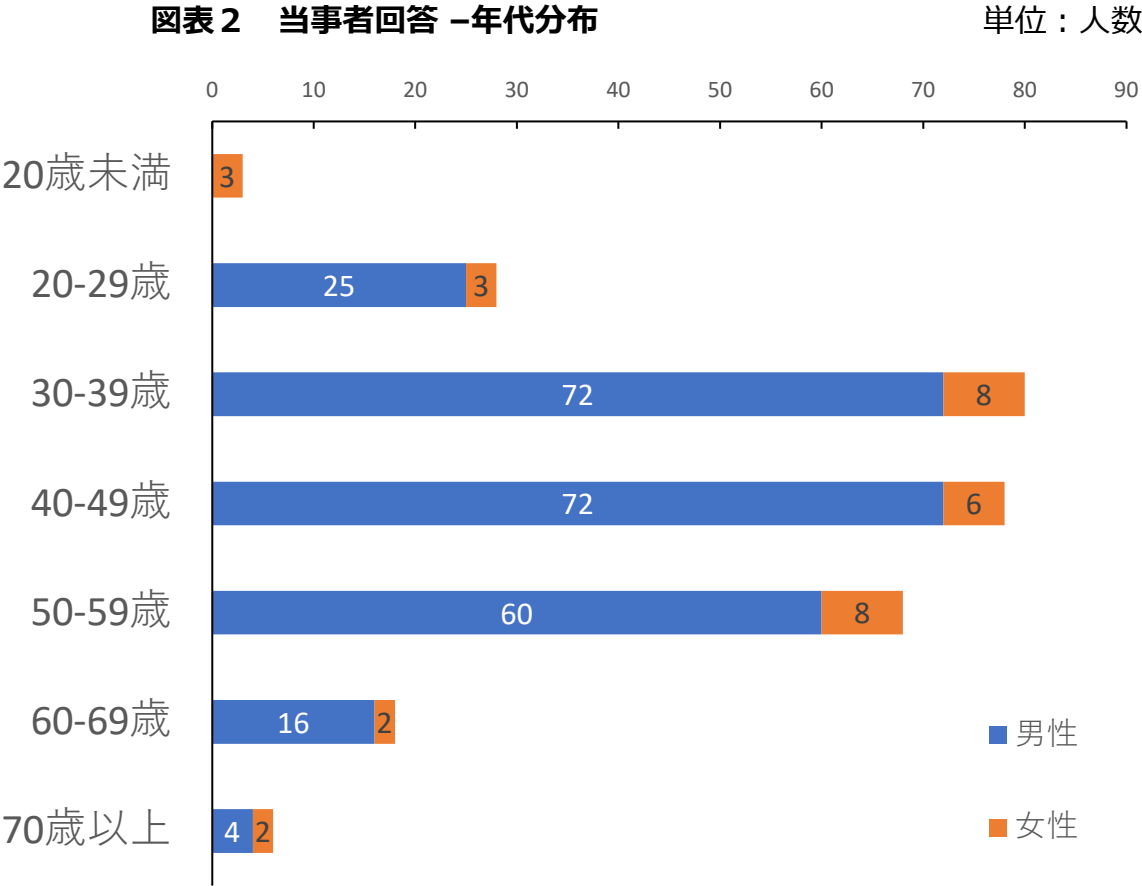
図表 1 相談者の抱える依存・嗜癖問題の種類



※本人の割合の分母:n=288
※家族の割合の分母:n=382
※本人のその他の内容:タバコ, ネット, 関係性依存, 性の問題
※家族のその他の内容:タバコ, ネット, 関係性依存, 性の問題, 摂食障害, オークション

調査B 当事者回答 ～性別、年齢、職業などの背景情報と群分け～

項目※1	男性	女性
人数	251名 (88.7%)	32名 (11.3%)
平均年齢※2	43.9歳 (±11.8)	42.7歳 (±16.5)
就業者	217名 (80.1%)	
失業・求職者	30名 (10.5%)	
既婚者	134名 (46.9%)	
年収※3	400万円以上～ 600万円未満	
相談支援機関の 利用状況※4	第1位：「公的な相談機関」39.6% 第2位：「病院やクリニック受診」37.5% 第3位：「自助グループ」24.7% ----- 「あてはまるものはない」27.9%	



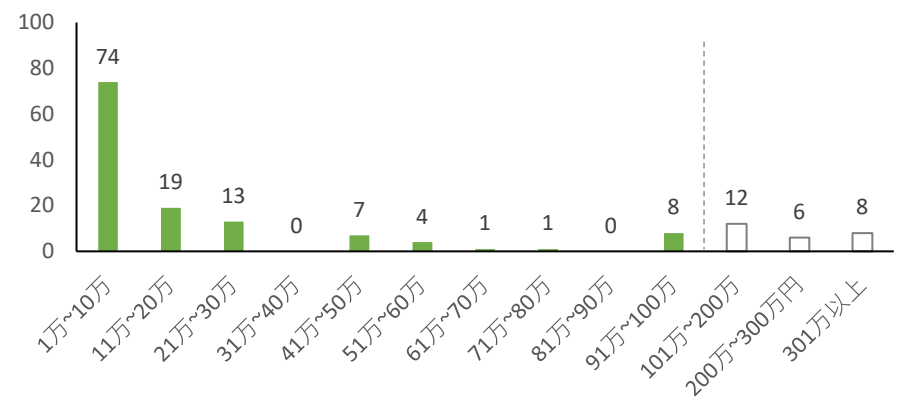
※1 項目ごとに欠損値があるため全体数が異なる
※2 カッコ内は標準偏差
※3 度数分布で、人数割合の最も高い年収階級
※4 男女で利用状況の順位に違いはなかった

調査B 当事者回答 ～ギャンブル開始の状況、借金額、相談支援につながるまで～

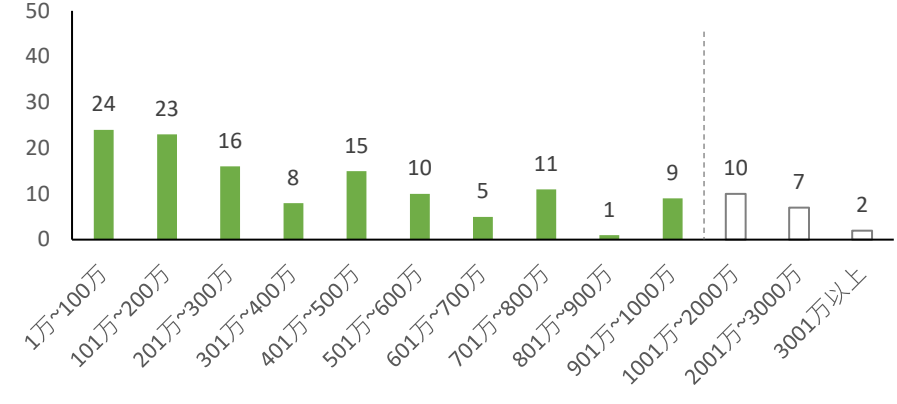
項目	ギャンブル問題を抱える相談者※1
ギャンブル開始年齢※2	20.2歳
月1回以上の習慣ギャンブル開始年齢※2	22.7歳
1カ月あたりのギャンブル使用金額※3	中央値：15万円 平均値：73万円
ギャンブルに関連した借金経験	借金の経験あり：141名(89.8%) 借金の経験なし：16名(10.2%)
ギャンブルに関連した借金※3	中央値：400万円 平均値：654万円
ギャンブル資金の用意	第1位：「自分の貯金」55.7% 第2位：「消費者金融やサラ金等」43.2% 第3位：「後払い決済（クレカ等）」35.9%
依存の問題に気づいてから病院や相談機関を利用するまでの期間	平均2.9年（34.5か月）
相談機関につながったきっかけ	第1位：「家族にすすめられた」51.2% 第2位：「自分からHPなどで探した」32.5% 第3位：「医療機関ですすめられた」13.8%

※1 ギャンブル問題を抱える相談者のみを対象に集計した
※2 平均年齢
※3 一万円未満の数値を四捨五入した値を示す

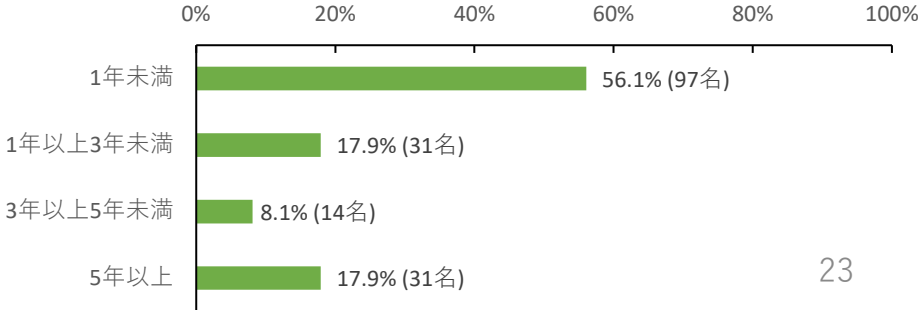
図表3 1カ月当たりのギャンブル使用金額 -当事者



図表4 ギャンブルに関連した借金 -当事者



図表5 相談機関につながるまでの期間 -当事者

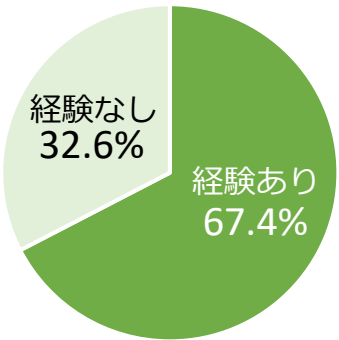


調査B 当事者回答 ～過去1年のギャンブル経験、問題となっているギャンブル～

<本調査におけるギャンブル種の定義>

パチンコ、パチスロ、競馬、競輪、オートレース、宝くじ、スポーツ振興くじ、証券の信用取引、先物取引市場への投資、FX、麻雀、海外のカジノ、オンラインカジノなど

図表6 過去1年間のギャンブル経験の有無



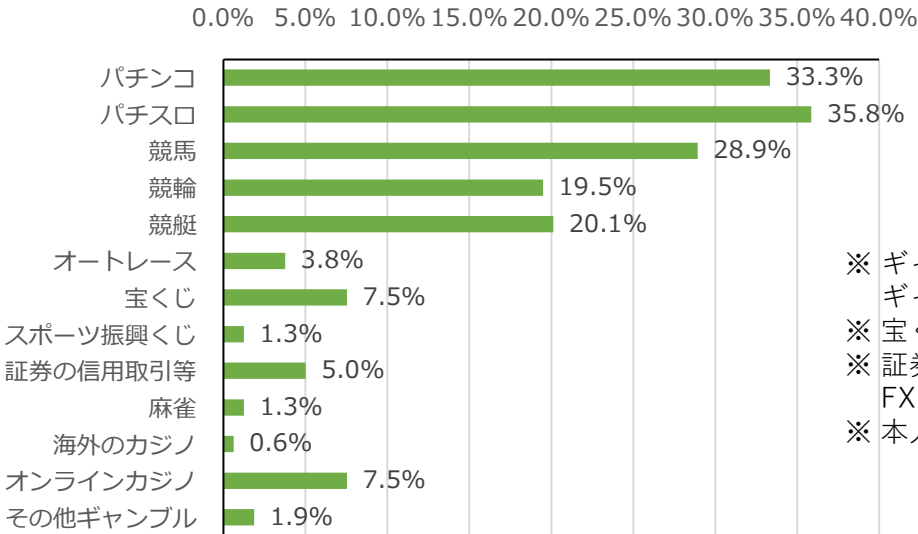
図表7 過去1年間のギャンブルをしていない理由

理由	人数
医療機関で治療を受けてやめたから	11名(55.0%)
自助グループに通ってやめたから	8名(40.0%)
特に理由はない	1名(5.0%)
ギャンブル以外の楽しみをみつけたから	9名(45.0%)
お金がないから	5名(25.0%)
ギャンブルに興味がないから	1名(5.0%)
これまで全くギャンブルをしたことがない	0名(0.0%)
その他	4名(20.0%)

※1 ギャンブル問題を抱える相談者のみを対象に集計した

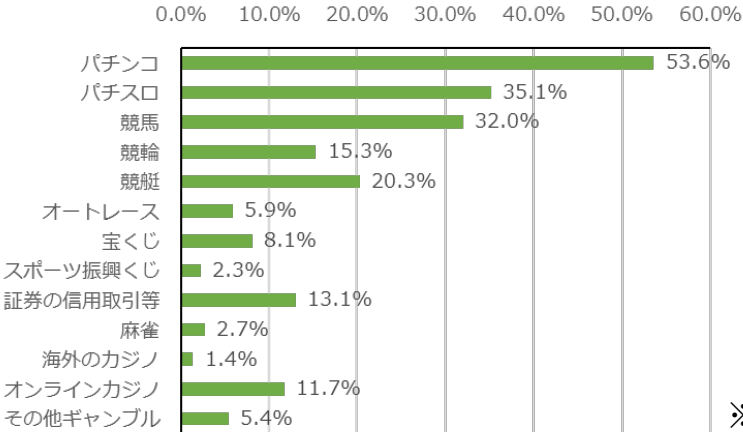
- 過去1年間で最もお金を使ったギャンブル：パチスロ、パチンコ、競馬の順に多い
(家族では、パチンコ、パチスロ、競馬の順)

図表8 問題となっているギャンブルの種類（当事者）



※ ギャンブルの問題を抱えており、過去1年間にギャンブル経験のあるものを集計対象とした
※ 宝くじにはロト・ナンバーズ等も含む
※ 証券の信用取引等には先物取引市場への投資、FXを含む
※ 本人の割合の分母：n=159

図表9 問題となっているギャンブルの種類（家族）

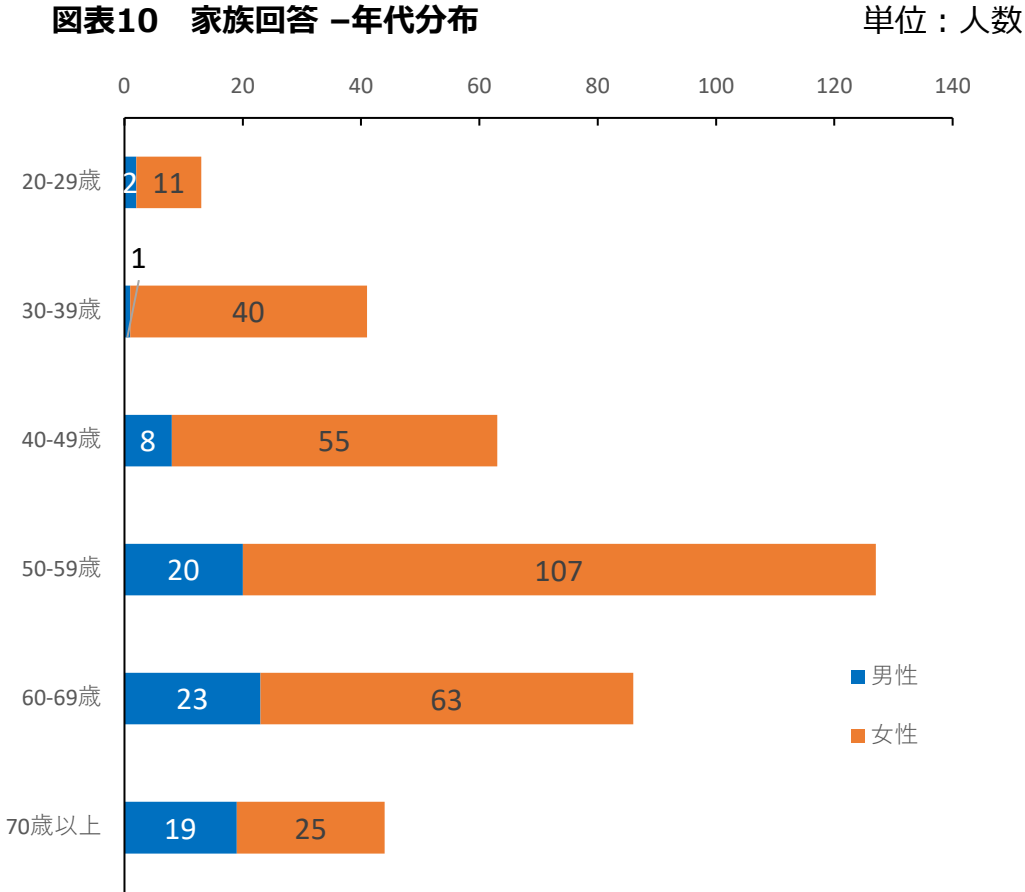


※ 家族の割合の分母：n=222

調査B 家族回答 ～性別、年齢、職業などの背景情報と群分け～

項目※1	男性	女性
人数	73名 (19.5%)	302名 (80.5%)
平均年齢※2	61.2歳 (±11.7)	52.9歳 (±12.1)
当事者との 関係性	第1位：「わたしの子ども」51.4% 第2位：「わたしの配偶者」35.1% 第3位：「わたしの兄弟姉妹」6.9%	
就業者	283名（74.1%）	
失業・求職者	4名（1.0%）	
既婚者	309名（81.1%）	
相談支援機関の 利用状況※3	第1位：「公的な相談機関」72.0% 第2位：「病院やクリニック受診」43.2% 第3位：「自助グループ」24.8% 「あてはまるものはない」 10.7%	

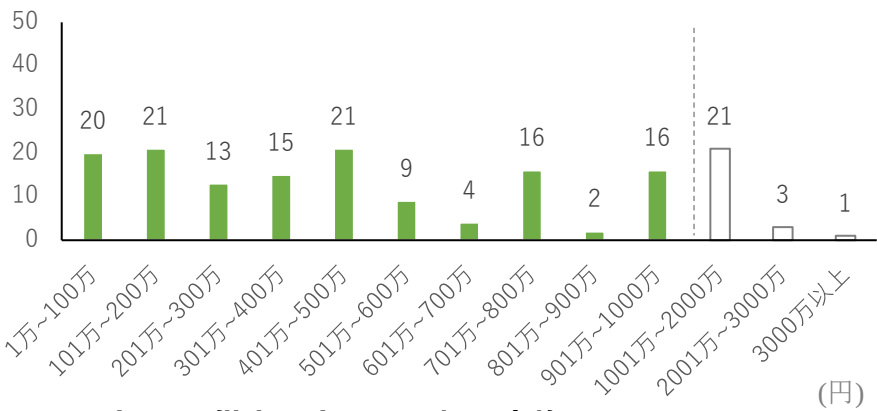
※1 項目ごとに欠損値があるため全体数が異なる
※2 カッコ内は標準偏差
※3 男女で利用状況の順位に違いはなかった



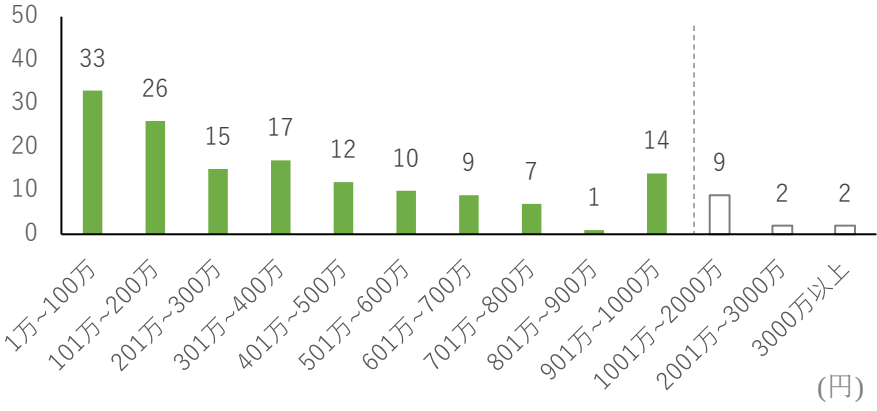
項目	ギャンブル問題を抱える相談者※1
ギャンブルに関連した借金経験	借金の経験あり：163名(74.1%) 借金の経験なし：12名(5.5%) わからない：45名(20.5%)
ギャンブルに関連した借金※2	中央値：500万円 平均値：680万円
借金の立て替え経験	借金立替の経験あり：157名(72.4%) 借金立替の経験なし：34名(15.7%) わからない：26名(12.0%)
借金の立て替え額※2	中央値：389万円 平均値：557万円
依存の問題に気づいてから病院や相談機関を利用するまでの期間	平均3.5年（41.5か月）
相談機関につながったきっかけ	第1位：「自分からHPなどで探した」51.2% 第2位：「家族にすすめられた」11.2% 「医療機関ですすめられた」11.2%

※1 ギャンブル問題を抱える相談者のみを対象に集計した
※2 一万円未満の数値を四捨五入した値を示す

図表11 ギャンブルに関連した借金 -家族



図表12 借金の立て替え額 -家族



図表13 相談機関につながるまでの期間 -家族

